

「やる」も「やらぬ」も「未来は僕の手の中」です。



笠原規弘が問う

企業に選ばれるまちづくりとは

Q 企業誘致施策について、SWOT分析⑥を用いた戦略は。

A にぎわい創出課長 「強み」は、利便性の高い交通網や表層地盤の揺れにくさ等です。恵まれた立地環境を相談時に説明しアピールしています。

Q 当町にとって時代の波に乗ることは、ホンダの流れに便乗することではないか。

A にぎわい創出課長 令和3年ホンダ埼玉製作所が寄居工場に集約されることや、令和2年に東武鉄道の新駅が完成

することは「当町にとってチャンスになる」と捉えています。

Q 企業立地に結びつかない要因である当町の「弱み」とは何か。

A にぎわい創出課長 工場を建設するための造成された用地が不足していることです。さらに、上下水道等のインフラが整っていないことも挙げられます。

Q 小川町都市計画マスタープランの工業・流通系用地の立地割合は。

A 都市政策課長 全体面積36・2ヘクタールに対し、100%です。

Q 当町の最上位計画「第五次総合振興計画・土地利用構想図」の見直しは、都市政策課長 庁内で企業立地推進会議を設け、新たな産業用地に関する課題を協議しています。



インターチェンジ出口の看板。皆さんは、どう受けとめますか。

未来に向かって、常に変化を求め、みんなで進もう！



島崎隆夫が問う

町財政状況と公有財産の今後は

Q 昨年策定された財政運営指針では、8年後までの状況を非常に厳しいものと表現している。世の中の財政状況が刻々と変わる中、現在の状況とそこから見えた課題とは。

A 政策推進課長 本年度は、自主財源である町税において、前年度より約4600万円の歳入減を見込んでいます。今後は、歳入ではふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディング⑦の検討など。歳出では、義務的性格の経常経費を維持しつつ、建設などの投資的経費を抑

制する方法を視野に入れて、官民連携を模索しながら進めていきます。

指定文化財の現状と活かし方は

Q 文化財の管理状況は。また、時代の変化に伴い管理方法を変えることも必要ではないか。さらに、住民が価値を再認識したり、維持に協力できるようにしていかねばならないと考える。そのため

A 町長ほか 複数課に係る側面から周辺整備の提案をいただきましたが、文化財を活かすためにも検討していきます。



文化財の周辺整備を進め、町に住む付加価値をも高める!! 一押し陣屋台周辺。

私の好きな小川町



四方田守雄さん (幸町) Morio Yomoda

お昼の音楽が『エーデルワイス』から『小京都おがわ』に変わりました。以前から『小京都おがわ』の歌を知っていたので、とても親しみがあります。平日は仕事のため、休みの日にしか聴けません。聴くたびにワクワクします。『小京都おがわ』に変えてくださってありがとうございます。

「恵みの水は 笠山生まれ…」流れが語る 手すき和紙…」「ここで生まれこの地で育ち…」生かされ生きて ふれあいのまち…」と歌詞にあります。私も小川町で生まれ育ちました。これからも、豊かな自然と、人と人とのつながりを大事にして、小川町を愛していけたらと思います。

腰一に嫁に来て31年。



大塚佳子さん (腰一) Yoshiko Otsuka

同居の義母と、同地区に住む伯母姉妹を見ながら介護福祉士をしています。先々、我が家にも介護問題はやってくるだろうと考えて、介護職10年目。今では実務経験が役に立っています。

高齢者の多い腰一ですが、元気で安心して暮らせるように取り組んでいるのは、区長をはじめ、民生委員、見守り隊の皆さんです。国が地域包括ケアシステムに舵を切った今、私にできることからこの思いで、仕事が休みのときは「いきいきサロン」「百歳体操」のお手伝いや「ワシモ健康教室」の養成講座にも参加しています。知りたい情報を皆さんに伝え、小さな「困った」をくみ取り町に提案をし、ずっと住みたいまちづくりのパイプ役になれたらと思っています。

また、7年前からボランティアで篠笛を演奏しています。「四季折々の小川町の自然に響く音色を」と、只今奮闘中です。

わたしの

解説 SWOT分析⑥

S(強み) W(弱点) O(機会) T(脅威) に分析し、戦略をたてるビジネス用語。

解説 ガバメントクラウドファンディング⑦

自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組み。